

第2回長野市地域包括支援センター運営協議会
地域包括支援センターの活動報告

地域包括支援センター名 長野市地域包括支援センター 芹田

地域の特色 (区域内の人口や市街地、 山間地等)	中心市街地 長野駅東口周辺 面積 6.9 km² 人口 27,038 人 65 歳以上高齢者 6,746 人 高齢化率 25% 17 区で構成された地域
R5 年度の活動報告 ・総合相談件数 ・相談の困難ケース ・相談から見えてきた地域の特徴 ・最近多い相談内容、傾向 ・相談があった消費者被害と対応	総合相談件数 291 件 来所相談 34 件 電話相談 245 件 訪問 10 件 他 2 件 相談の困難ケース ① 障害者で癌発症し障害から介護保険へ移行。 ② 生活保護受給者が、末期がんの相談。 ③ 独居。自宅で倒れて救急搬送され入院中。退院後の支援 ④ リストカット。お金がない。生活困窮者。 ⑤ 5年位前からセルフネグレクト、ゴミ屋敷・病院受診してない。 ⑥ 夫婦二人暮らし、家はゴミ屋敷状態。長女も疾患がある。 ⑦ 認知症の疑いあり、住宅ローンの返済 450 万円に困り家を売却したい。お金の相談や認知症の相談。 ⑧ 認知症・精神疾患のある方の支援。 ⑨ 認知症の方が近隣住民の家に来てはお金貸してくれと数千円借りる。その後貸した本人も忘れてしまうケース。 ⑩ 精神疾患(特定の人に攻撃的に攻めるタイプ)の方、介護保険サービス事業所受け入れ先がない。CM 交代 5 人目。 ⑪ 隣の住民。叫び声が聞こえる。大声で叫ぶ恐怖がある。 ⑫ 中国籍の高齢者。家に閉じこもり気味。 相談から見えてきた地域の特徴 ○近隣との関わりが希薄○癌患者の相談が増加傾向。○管内に精神病院が日赤・鶴賀病院・栗田病院があり障害から介護の移行の相談増加傾向。 ○軽度認知症 MCI の方の支援相談○この地区は、平らで坂道がなく、近くにコンビニやスーパーが多いので惣菜を購入している高齢者をよく見かける。高血圧症や糖尿病などの生活習慣病の方が多い傾向○困窮者○外国籍の高齢者からの相談

	・最近多い相談内容、傾向 貧困 障害 虐待 外国籍 精神疾患 ガン末期 詐欺 ご近所トラブルなど多岐にわたる。障害を抱えた家族と、高齢者という相談 ごみ屋敷 貧困 8050 家族引きこもり 相談があった消費者被害と対応 ①電話詐欺 NTT と名乗る人から、動画サイト未納金がある。と言われ、近くのコンビニで 50 万円また別のコンビニで 30 万円のプリペイドカード購入し騙された。相手よりもし詐欺ですか？と言われたら孫のプレゼントと言うようにと言われた。→家族が警察へ通報・消費者センター相談 ②押し買いの報告 ・認知症のある一人暮らしの家に、県外ナンバー車が停車。隣に住む住民が家族と装い問うと、「不用品の買い取りの相談があった」という。名刺を置いて帰って行った。被害はなかったのか不明。家族・民生員・区長に伝え、地区のサロンで周知啓発。消費者センター相談 ③認知症の独居。自宅に入って高級品や高級洋酒をもっていった。領収書には 500 円と書かれていた。 ④認知症の独居、銀行 ATM 前で携帯を見ながら「お金振り込んでないわ」と話していたところを、銀行職員が心配し警察に通報。生活安全課がかけつける。友人からメールが来て3億5000万円受け取ってくれないかと言われたと。警察官がメールを確認すると、お金を振り込むかわりとして URL に誘導し、情報入力させる内容の物だった。幸いにも、本人ガラケーの操作方法分からず、情報は打ち込んでいなかった。包括より家族・民生委員・CM・デイサービスに情報共有 ⑤独居高齢者宅に警視庁の物です。あなたの携帯が犯罪に使われた。このままだと共犯者で逮捕される。自宅前に警察官 2 名いる。と言われた。本人が、交番に今から行くと言ったら電話切れた。 包括より民生委員定例会にて周知啓発・各はつつ体操サロン等にて住民に周知啓発・包括だよりにて掲載配布。
地域ケア会議について ・R5 年度のケア会議の回数と議題 ・ケア会議の出席者は (民生児童委員、住自協役員等) ・会議の中でどのような意見が出たのか	年 2 回開催 議題: 高齢者の災害時の対応方法についてと、訪問等の中で対応に困ったことを共有する。 包括職員、支所職員 1 名、民生委員 51 名、自主防災会の実行員 7 名 意見①高齢者の災害時の対応 ・地区自主防災会では身を守るタイムラインを作成している。 ・警戒レベル3が発令して、高齢者避難の発令出なければ避難所は開設しない。 ・早めに避難するとしても体力の持続力や防寒力はひとそれぞれ。避難用リュックを持ち出せない人もいる。避難所よりも垂直避難で2階に在宅避難と備蓄について。 ・日々民生委員や包括が訪問する中で、地区タイムラインを配り、一人ひとりで自身の行動基準をつくるよう呼びかけることが大切 意見②訪問等の中で対応に困ったことを共有する。

	・包括に相談することが大切だが、包括について知らない人、知っていてもどういった業務をしているか知らない人(民生員、高齢者ともに)多い。 ・問題が複雑化する前に予防できることも多くあると思う。地区の特徴(疾病の割合やどんな相談ごとが多いのか)を知りたい。 議題:前回出た意見を踏まえて包括より、今年度の相談内容を集約し、芹田地区ではどんなお困り事が多いのか、疾病の種類や相談内容の割合を集計表示し、芹田地区の特性を理解する。 包括職員、支所職員 1 名、民生委員 50 名 意見・食生活の改善、定期的な運動、社会参加を促すことで生活習慣病の軽減を図る。→介護予防の周知啓発方法については生涯応援健康講座など検討。 ・困り事どこへ相談すればいいのか地域ではどんなサービス(介護保険だけでなく、宅配弁当や民間の見守りサービス、助け合い事業などもある)や自主活動グループがあるのか、全体に周知する必要がある。→周知方法については要検討。現在は回覧物の配布や、定期的に民生委員に情報発信することで民生委員の訪問時に周知していただく。 ・地域の課題は「芹ねっと」(支所、包括、住民自治協で構成)にて月に1度協議。 ・健康・交流・通いの場(はつらつ体操・生涯健康応援講座・サロン de レコード・せりた健康ウォーキングなど)の紹介。 ・芹ねっと相談窓口の設置 ・課題解決策を協働して考え、取り組む ・各サロンや活動の場の資源開発や現況のサロンの取り組み内容の再検討。
地域包括支援センターの広報について ・どのような取り組みをしているか	地域包括支援センターの広報について 包括だより 月 1 回 発行し担当地区に回覧 Instagramにて活動内容の紹介。 ・どのような取り組みをしているか ・生涯健康応援講座…西部保健センター、長野市国保・高齢者医療課と協働し地区内の高血圧症や糖尿病等の疾患の割合が高いこと、特定健診の結果より検診を受けている割合が少ないことから、各地区集会場へ出向き生涯健康応援講座を開催。 各地区回覧作成とチラシの配布 ・民生委員児童委員定例会にチラシ配布や、R5 年度の総合相談内容・地区内の疾病割合の集計作成し公表。 ・オレンジカフェ開催時にチラシ配布 ・地域福祉ワーカーと協働しサロン活動/はつらつ体操/健康ウォーキングに参加しアンケート行い地域の困りごとの把握/認知症予防・フレイル予防・消費者被害の啓発周知チラシ配布 ・平成学園の留学生と長野社会福祉専門学校の生徒さんとの地域住民との多文化交流に参加

第2回長野市地域包括支援センター運営協議会
地域包括支援センターの活動報告

地域包括支援センター名 ケアポート三輪

地域の特色 (区域内の人口や市街地、山間地等)	高齢者人口:4924人(高齢化率:31.7%) (R6.10.1.) ・中心市街地にほど近く、北に向かって緩やかな勾配がある地勢に閑静な住宅地が広がっている市内有数の文教地区。大小の病院・大規模商業施設があり、比較的交通の便が良く、昭和に開発された大規模は公営住宅が3か所ある。
R5 年度の活動報告 ・総合相談件数 ・相談の困難ケース ・相談から見てきた地域の特徴 ・最近多い相談内容、傾向 ・相談があった消費者被害と対応	・総合相談件数:3643 件(延べ件数) ・訪問件数:601 件(延べ件数) ・困難ケース:・認知症・独居で支援者不在の高齢者支援、精神疾患がある子供と生活しているが高齢になり生活が困難になってきた方の支援、経済的な問題をかかえる高齢者の支援、認知症の自覚がなく、周囲が対応に困っている方の支援、9060問題と高齢者虐待が心配される家庭の支援等。 ・相談から見てきた地域の特徴:経済的な問題は2分化されている。公営団地には障害者住宅も多く、高齢になった身障・精神疾患障害者、中国からの帰国者。経済的に課題を抱える方も多い。 ・最近多い相談内容・傾向:独居、認知症、身寄りがなく支援者も不在で介護が必要になった方の相談、本人は認知症の自覚がないが周囲が困っている方の相談、これらが複合して問題化している相談。退院後の生活支援相談、首都圏に住む子供たちから高齢になった親の支援相談、複合的な課題を抱えるケースが増えている。 ・消費者被害と対応:水道工事を勧められ、言われるがままに工事を実施。かなり高い金額を請求されたが、本人は問題視しておらず、すでにクーリングオフの期間も過ぎていることから市への報告のみ行った。
地域ケア会議について ・R5 年度のケア会議の回数と議題 ・ケア会議の出席者は (民生児童委員、住自協役員等) ・会議の中でどのような意見が出たのか	・地域ケア会議:1回 「ヘルパーさんが足りない」 ・出席者:地域福祉ワーカー、たすけあいコーディネーター、三輪地区内ヘルパー事業所、三輪地区内ケアマネジャー、包括職員 ・意見:・ケアプランにヘルパーを計画しても希望通りに手配できない。地域たすけあい事業のヘルパーをお願いしても、支援を受けてくれる住民が見つからない。近隣も高齢化しており共助も難しく、日中は若い人は働きに出ていて不在。 ・ゴミ出しも朝8時前に出すのではなく、ヘルパー業務として支援時間内に計画できるように、地域の協力と理解があればありがたい。 ・地域に問題提起をしていく事で地域の実状を理解してもらおう。住民同士が共助する意識をもち、地域の人材確保、ヘルパーだけに頼らない地域の支援体制を構築していく必要がある。 ・地域の共助体制作りの意識喚起につなげていく。
地域包括支援センターの広報について ・どのような取り組みをしているか	・民協への参加、地域のサロンや勉強会には講師として参加している。お互いの顔が見え、相談しやすい関係ができるように心がけている。 ・民生委員との同行訪問により、地域の高齢者支援の窓口として理解してもらい、困った時に相談できるような体制作りを行っている。

第 2 回長野市地域包括支援センター運営協議会
地域包括支援センターの活動報告

地域包括支援センターコスモス

地域の特色 (区域内の人口や市街地、 山間地等)	更北地区人口 33,462 人(10/1 現在) 長野市の行政区で 2 番目に大きい規模。長野市の中心市街地とは犀川を挟んで南側に位置している。
R5 年度の活動報告 ・総合相談件数 ・相談の困難ケース ・相談から見えてきた地域の特徴 ・最近多い相談内容、傾向 ・相談があった消費者被害と対応	(総合相談件数)2,385 件 (相談の困難ケース) ・ 複数課題があり、課題解決に時間がかかっているケースがある。 ・ 被害妄想があるが病院につながらず、自立しているのでサービスにもつながらないが、関係機関(警察)からは入院、入所をしてほしいと言われるケース ・ 本人を含め家族全員が何らかの障害を持っている(多問題家族)と思われる、介護者もおらず、さらにキーパーソンが不在なケース ・ キーパーソンがいないケースが体調悪化し、自宅で生活することが難しくなった場合に施設申し込みなどへの対応。 ・ 親族がいても疎遠だったり、高齢でキーパーソンとしての役割が果たせない人のケースへの対応。 ・ 動物の多頭飼いをしていたが体調悪化で面倒が見れなくなった時の対応。 ・ 家族が知的障害や精神疾患や発達障害などでキーパーソンとしての役割が果たせず、本人以上に支援が必要で関連機関へつなげて支援に結び付けるまでの時間が大変長くかかってしまうケース。 ・ 本人の言動が威圧的、暴力的で面談に恐怖を感じるケース。 (最近多い相談内容傾向) ・ 家族から認知症だと思われる、もしくは診断されたがどうしたらいいかというケース ・ 本人が今後のことが心配、と相談してくるケース ・ 病院から退院、もしくは外来で来ている方で関わってほしいというケース
地域ケア会議について ・R5 年度のケア会議の回数と議題 ・ケア会議の出席者は (民生児童委員、住自協役員等) ・会議の中でどのような意見が出たのか	個別ケア会議 2 回 1 回目「認知症高齢女性が、下校時の小学生に賞味期限切れの食物を配って、地域で対応に苦慮しているケースについて」 出席者：民生委員、ケアマネジャー、地域の人(育成会)、包括 2 回目「困窮」 出席者：福祉事務所、長野市社協、包括 地域ネットワーク会議 1 回 「関係者が集い地域課題を把握し、解決に向けて話し合う」出席者：民生委員、たすけあい Co、市、ケアマネジャー、包括

	・ 見守り活動をしている方が長期不在になった時、入院なのか入所なのか分からず見守り活動を継続していいのか悩む。ケアマネが担当している人なら担当民生委員に連絡がほしい。亡くなった場合は区長に連絡が来るので分かるようになっている。 ・ ごみ捨ての問題は他人事ではない。最近はずべて南京錠のようなカギになっているので当番が大体朝カギを開ける。今後ヘルパーによる支援が必要な人のためにナンバーを入れたら空くようにするゴミ捨て場もあった方がいい。 ・ 空き家問題。近所が空き家だらけになり、最近では通り沿いに何軒か続いている空き家に空き巣の被害があった。空き家になった家の木などが伸び放題になり、誰が管理するのか、空き家もどうしたらいいのか、そして住民が減っている事も問題とを感じる。横のつながりが以前より希薄になった。
地域包括支援センターの広報について ・どのような取り組みをしているか	・ オレンジカフェに来た人たちにカフェ以外の取り組みを説明し、介護者教室などの紹介をしている。 ・ 介護者教室で紹介 ・ お茶のみサロンなど地域で行われる活動に参加させてもらった際に、包括についてチラシを用いて説明したり、民協、更北地区で行われるイベント等でチラシを配布、説明等行っている。